

## 窓口支援事例 【群馬県 知財総合支援窓口】

### 企業情報

コーエイ株式会社

所在地	群馬県前橋市上小出町		
ホームページ URL	https://www.koei-corp.jp/		
設立年	1970年	業種	総合レンタル・イベント企画
従業員数	250人	資本金	9,275万円

### 企業概要

当社は、「総合レンタル・イベント企画、環境危機の設備・トータルメンテナンス事業」を中心にサービスの多角化を進めております。また、取引先、地域社会及びビジネスパートナー、そして会社の原動力である従業員とその家族、事業を通じて当社に関わるすべての人々に、暮らしやすく魅力的な生活を提供すべく、創業以来、このビジョンを胸に挑戦してきた企業です。そして、当社の使命は「新たな価値の創造」であり、これからもより良い社会作りに貢献していくつもりです。



### 自社の強み

当社の強みは、永年の実績と経験を生かし、建設現場に必要なあらゆる建設機械、各種備品を取り揃え、お客様の信頼と満足度を高めている点です。すべてにおいて高品質な整備を行い、安全性の高い機械を迅速に提供しております。また、高度な技術力と創造力を持った建機のプロフェッショナルが、お客様とのコミュニケーションを大切にしながらニーズを的確に把握し、建設工事に即したコンサルティングサービスを提供しております。



### 一押し商品

当社のイベント事業部は、日本の伝統的なお祭りやフェスティバル、大小さまざまなパーティー、運動会や展覧会、地鎮祭や竣工式など、あらゆるイベントのプロデュースを手がけています。会場の設営から運営、管理、備品のレンタル、撤収まで、豊富な経験とイベント業務管理者の資格を持つ専門スタッフが、豊かな創造力と機動力を駆使して、お客様の「夢」をカタチにいたします。すべての人々に「わくわく」や「ドキドキ」する感動を、「いきいき」する夢と希望をお届けいたします。



## 知財総合支援窓口活用のポイント

### 窓口活用のきっかけ

当社は、近年幅広い分野への事業拡大をしておりましたが、ユーザーに対して同業他社や新規参入企業と自社独自のサービスとの差別化を明確にする必要がありました。そこで、従業員のモチベーションアップも兼ね、知的財産（特に、商標を中心とした自社ブランド戦略）を事業に生かしていきたいと考え、商標等の取得活用支援をして欲しいとの事で窓口来訪があったことが支援のきっかけでした。

### 最初の相談概要

当社の来訪を受け、知財総合支援窓口の支援内容を説明したところ、自社ブランド構築の手始めとして、レンタル事業やイベント事業で獲得してきた独自サービス名の商標権取得・活用について支援を開始することになりました。そこで、すでに使用中のブランド名に加え、使用予定の名称について、J-PlatPatによる商標検索方法や出願手続の進め方等を指導・助言致しました。

### その後の相談概要

その後、建設現場で使用する安全装置のレンタル・販売品の新製品開発を手がけるようになり、特許出願の検討、先行技術調査方法の指導も行うこととなりました。さらに、将来の海外展開を見据えて、海外における知的財産の取得活用に対しても意欲的に取り組んでいるところです。

### 窓口を活用して変わったところ

自ら先行調査や申請書類作成等が出来るようになり、新規ブランドの構築に際してはいち早く他社商標等を調べ上げ、自社ブランドの方向性等の検討が出来るようになりました。そのため、ブランド戦略構築に対するモチベーションが高まり、商標登録出願の検討が以前よりスムーズになりました。特に、支援後、商標登録出願が飛躍的に増加し、登録商標も順調に増えております。

### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当社は、知財総合支援窓口を知ったのをきっかけに他社の商標調査に関するアドバイスや専門家（弁理士）による商標権取得活用のアドバイスを受けて、当所の目的であった従業員のモチベーションアップや新製品の知財による保護を進めることが出来ました。新商品の開発、従業員のモチベーションや知財スキルアップをお考えの際は、是非知財総合支援窓口の利用をお勧めします。

### 窓口担当者から一言（氏名：荒木 正弘）



当社は、激しい競争下で多様なサービス事業を展開しており、ユニークな商品企画力が強みでもあります。独自ブランドの構築は、同社の喫緊の課題であり、今後も知財総合支援窓口の機能を生かして、同社の新規事業展開に係る技術や新規ブランドの知的財産保護活用について支援していく予定です。

## 窓口支援事例 【群馬県 知財総合支援窓口】

### 企業情報

コーエイ株式会社

所在地	群馬県前橋市上小出町		
ホームページ URL	https://www.koei-corp.jp/		
設立年	1970年	業種	総合レンタル・イベント企画
従業員数	200人	資本金	9,275万円

### 企業概要

当社は、「総合レンタル・イベント企画、環境危機の設備・トータルメンテナンス事業」を中心にサービスの多角化を進めております。また、取引先、地域社会及びビジネスパートナー、そして会社の原動力である従業員とその家族、事業を通じて当社に関わるすべての人々に、暮らしやすく魅力的な生活を提供すべく、創業以来、このビジョンを胸に挑戦してきた企業です。そして、当社の使命は「新たな価値の創造」であり、これからもより良い社会作りに貢献していくつもりです。



### 自社の強み

当社の強みは、永年の実績と経験を生かし、建設現場に必要なあらゆる建設機械、各種備品を取り揃え、お客様の信頼と満足度を高めている点です。すべてにおいて高品質な整備を行い、安全性の高い機械を迅速に提供しております。また、高度な技術力と創造力を持った建機のプロフェッショナルが、お客様とのコミュニケーションを大切にしながらニーズを的確に把握し、建設工事に即したコンサルティングサービスを提供しております。



### 一押し商品

当社のイベント事業部は、日本の伝統的なお祭りやフェスティバル、大小さまざまなパーティー、運動会や展覧会、地鎮祭や竣工式など、あらゆるイベントのプロデュースを手がけています。会場の設営から運営、管理、備品のレンタル、撤収まで、豊富な経験とイベント業務管理者の資格を持つ専門スタッフが、豊かな創造力と機動力を駆使して、お客様の「夢」をカタチにいたします。すべての人々に「わくわく」や「ドキドキ」する感動を、「いきいき」する夢と希望をお届けいたします。



## 知財総合支援窓口活用のポイント

### 窓口活用のきっかけ

当社は、近年幅広い分野への事業拡大をしておりましたが、ユーザーに対して同業他社や新規参入企業と自社独自のサービスとの差別化を明確にする必要がありました。そこで、従業員のモチベーションアップも兼ね、知的財産（特に、商標を中心とした自社ブランド戦略）を事業に生かしていきたいと考え、商標等の取得活用支援をして欲しいとの事で窓口来訪があったことが支援のきっかけでした。

### 最初の相談概要

同社の来訪を受け、知財総合支援窓口の支援内容を説明したところ、自社ブランド構築の手始めとして、レンタル事業やイベント事業で獲得してきた独自サービス名の商標権取得・活用について支援を開始することになりました。そこで、すでに使用中のブランド名に加え、使用予定の名称について、J-PlatPatによる商標検索方法や出願手続の進め方等を指導・助言致しました。

### その後の相談概要

その後、建設現場で使用する安全装置のレンタル・販売品の新製品開発を手がけるようになり、特許出願の検討、先行技術調査方法の指導も行うこととなりました。さらに、将来の海外展開を見据えて、海外における知的財産の取得活用に対しても意欲的に取り組んでいるところです。

### 窓口を活用して変わったところ

自ら先行調査や申請書類作成等が出来るようになり、新規ブランドの構築に際してはいち早く他社商標等を調べ上げ、自社ブランドの方向性等の検討が出来るようになりました。そのため、ブランド戦略構築に対するモチベーションが高まり、商標登録出願の検討が以前よりスムーズになりました。特に、支援後、商標登録出願が飛躍的に増加し、登録商標も順調に増えております。

### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当社は、知財総合支援窓口を知ったのをきっかけに他社の商標調査に関するアドバイスや専門家（弁理士）による商標権取得活用のアドバイスを受けて、当所の目的であった従業員のモチベーションアップや新製品の知財による保護を進めることが出来ました。新商品の開発、従業員のモチベーションや知財スキルアップをお考えの際は、是非知財総合支援窓口の利用をお勧めします。

### 窓口担当者から一言（氏名：荒木 正弘）



当社は、激しい競争下で多様なサービス事業を展開しており、ユニークな商品企画力が強みでもあります。独自ブランドの構築は、同社の喫緊の課題であり、今後も知財総合支援窓口の機能を生かして、同社の新規事業展開に係る技術や新規ブランドの知的財産保護活用について支援していく予定です。